

## Q9 話し合い活動やグループ学習への参加が難しいのですが・・・

### 【考えられる背景】

- 聴覚系認知に困難があるため、周囲の音や声と同じ強さで聞こえてしまい、話し合いの内容を正確に把握することが難しい
- 短期記憶に課題があるために、会話の内容を整理しながら聞くことが難しい
- 物事をイメージする力が弱く、周囲の状況を読み取ったり、先のことを予測することが難しい
- 語いが乏しかったり、語の想起が困難であるため、複雑な会話が困難である

### 【支援への手がかり】

#### ☆ 視覚的な提示を工夫し、話し合いの流れを明確にする

話し合う事柄を、黒板などに箇条書きにして提示し、何を話し合うのかを分かるようにします。また、話し合っている途中でも、今、どの部分を話し合っているのかが分からなくなることもありますので、話し合いの流れを順番に書き出します。

このような視覚的な援助をすることによって、話し合いの流れを予測し、見通しをもって参加できるように配慮することが大切です。

#### ☆ しっかりと話を聞くとともに話し合いのルールを決める

話し始めるのに時間がかかってしまったり、話をしているうちに話題がずれていってしまう様子が見られることがあります。指導者は、本人が話そうとしている気持ちを汲み取ることを大切にし、子どもの話した内容について、不十分なところは、問いかけながら適切な言葉を付け足してあげましょう。

また、本人が安心して話ができるように、周囲の友だちには、話をしている途中で笑わない、発言の途中で話をさえぎらない、聞きたいことは話し終わってから等のルールを決める等の配慮も必要です。

#### ☆ 話し合いへの参加の仕方等を評価する

前回の話し合いの場面では、一度も発言がなかったけれど、今回は話すことができた等、子どものできた部分を見つめ、評価していくことが次回への意欲につながります。

